

平成30年度 男女共同参画に関する市民意識調査 集計表

問1 性別は	全体		男性		女性	
1. 男性	158	44.00%				
2. 女性	201	56.00%				
未回答	1	0.30%				
(有効回答数)⇒	359		158		201	

問2 年齢は	全体		男性		女性	
1. 20～29歳	43	12.00%	16	10.10%	27	13.40%
2. 30～39歳	54	15.00%	26	16.50%	28	13.90%
3. 40～49歳	60	16.70%	22	13.90%	38	18.90%
4. 50～59歳	88	24.50%	37	23.40%	51	25.40%
5. 60～69歳	91	25.30%	43	27.20%	48	23.90%
6. 70歳以上	23	6.40%	14	8.90%	9	4.50%
未回答	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%

問3 家族構成(同居している家族)は	全体		男性		女性	
1. ひとり暮らし	22	6.10%	9	5.70%	13	6.50%
2. 夫婦のみの世帯	82	22.90%	37	23.40%	45	22.50%
3. 親と子の二世帯	157	43.90%	67	42.40%	90	45.00%
4. 親・子・孫の三世帯	67	18.70%	29	18.40%	38	19.00%
5. 兄弟・姉妹の世帯	5	1.40%	2	1.30%	3	1.50%
6. 母子世帯	9	2.50%	4	2.50%	5	2.50%
7. 父子世帯	5	1.40%	4	2.50%	1	0.50%
8. その他	11	3.10%	6	3.80%	5	2.50%
未回答	1		0		1	

その他回答

- ・親・子・孫の四世代
- ・夫婦と子
- ・週末のみ夫婦のみ世帯。平日は県外でひとり
- ・四世代(2)
- ・夫婦、子(4)
- ・親、子、祖母
- ・祖母・両親・弟

問4 職業は、	全体		男性		女性	
1. 自営業(商工、サービス業)	28	7.80%	14	8.90%	14	7.00%
2. 自営業(農、林業)	2	0.60%	1	0.60%	1	0.50%
3. 会社、商店、工場等の勤め人(常勤)	112	31.40%	70	44.30%	42	21.10%
4. 官公庁、公共企業体の勤め人(常勤)	37	10.40%	23	14.60%	14	7.00%
5. パートタイム・アルバイト(内職含む)	77	21.60%	12	7.60%	65	32.70%
6. 専業主婦・専業主夫	36	10.10%	0	0.00%	36	18.10%
7. 学生	14	3.90%	6	3.80%	8	4.00%
8. 無職	51	14.30%	32	20.30%	19	9.50%
未回答	2		0		2	

問5 結婚されていますか。	全体		男性		女性	
1. 未婚	92	25.80%	47	29.90%	45	22.50%
2. 既婚(夫婦同居、婚姻の届け出をしていないものを含む)	230	64.40%	102	65.00%	128	64.00%
3. 既婚(夫婦別居、単身赴任を含む)	11	3.10%	4	2.50%	7	3.50%
4. 離別または死別	24	6.70%	4	2.50%	20	10.00%
未回答	2		1		1	

問5-1 問5で2と回答した方 共働きですか。	全体		男性		女性	
1. 共働き(共にフルタイム)	60	26.70%	29	29.00%	31	24.80%
2. 共働き(いずれかがパート・アルバイト)	74	32.90%	31	31.00%	43	34.40%
3. 共働き(共にパート・アルバイト)	8	3.60%	2	2.00%	6	4.80%
4. 共働きでない	53	23.60%	26	26.00%	27	21.60%
5. どちらも働いていない	30	13.30%	12	12.00%	18	14.40%
未回答	7		3		4	

問6 お子さんがいらっしゃいますか。	全体		男性		女性	
1. いる	240	71.60%	100	68.00%	140	74.50%
2. いない	95	28.40%	47	32.00%	48	25.50%
未回答	24		11		13	

問6-1 問6で1と回答 お子さんの年齢は	全体		男性		女性	
1. 3歳未満	12	5.00%	4	4.00%	8	5.70%
2. 3歳以上～就学前	14	5.80%	5	5.00%	9	6.40%
3. 小学生	24	10.00%	10	10.00%	14	10.00%
4. 中学生・高校生	39	16.30%	12	12.00%	27	19.30%
5. 短大・大学生・その他の学生	18	7.50%	11	11.00%	7	5.00%
6. 社会人	133	55.40%	58	58.00%	75	53.60%
未回答	0		0		0	

問7	あなたは、大月市にお住まいになってどのくらいの年数か。	全体		男性		女性	
	1. 生まれてからずっと	106	29.50%	51	32.30%	55	27.40%
	2. 3年未満	7	1.90%	3	1.90%	4	2.00%
	3. 3～5年未満	5	1.40%	2	1.30%	3	1.50%
	4. 5～10年未満	16	4.50%	4	2.50%	12	6.00%
	5. 10～20年未満	23	6.40%	7	4.40%	16	8.00%
	6. 20年以上	181	50.40%	82	51.90%	99	49.30%
	未回答	21	5.80%	9	5.70%	12	6.00%

問8	次にあげる項目についてどのように思いますか。	全体		男性		女性	
問8-1	「男は外で働き、女が家庭を守るべき」という考え方に同感する。						
	1. そう思う	8	2.30%	5	3.20%	3	1.50%
	2. まあそう思う	44	12.50%	22	14.30%	22	11.20%
	3. どちらともいえない	86	24.50%	35	22.70%	51	25.90%
	4. あまりそう思わない	74	21.10%	36	23.40%	38	19.30%
	5. そう思わない	139	39.60%	56	36.40%	83	42.10%
	未回答	8		4		4	

問8-2	会社などでは仕事における男女の格差はなくした方がよい。	全体		男性		女性	
	1. そう思う	132	37.60%	64	41.80%	68	34.30%
	2. まあそう思う	93	26.50%	42	27.50%	51	25.80%
	3. どちらともいえない	99	28.20%	38	24.80%	61	30.80%
	4. あまりそう思わない	22	6.30%	6	3.90%	16	8.10%
	5. そう思わない	5	1.40%	3	2.00%	2	1.00%
	未回答	8		5		3	

問8-3	地域活動は男性が中心に行うべきだ。	全体		男性		女性	
	1. そう思う	13	3.70%	4	2.60%	9	4.50%
	2. まあそう思う	34	9.70%	14	9.10%	20	10.10%
	3. どちらともいえない	120	34.10%	39	25.30%	81	40.90%
	4. あまりそう思わない	79	22.40%	39	25.30%	40	20.20%
	5. そう思わない	106	30.10%	58	37.70%	48	24.20%
	未回答	7		4		3	

問9	次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。	全体		男性		女性	
問9-1	家庭生活で						
	1. 男性の方が非常に優遇	21	5.90%	7	4.50%	14	7.00%
	2. どちらかといえば男性の方が優遇	160	44.90%	60	38.50%	100	50.00%
	3. 平等	92	25.80%	48	30.80%	44	22.00%
	4. どちらかといえば女性の方が優遇	25	7.00%	19	12.20%	6	3.00%
	5. 女性の方が非常に優遇	6	1.70%	3	1.90%	3	1.50%
	6. 分からない	52	14.60%	19	12.20%	33	16.50%
	未回答	3		2		1	

問9-2 職場で

	全体		男性		女性	
1. 男性の方が非常に優遇	52	14.60%	15	9.70%	37	18.50%
2. どちらかといえば男性の方が優遇	150	42.30%	64	41.30%	86	43.00%
3. 平等	82	23.10%	43	27.70%	39	19.50%
4. どちらかといえば女性の方が優遇	18	5.10%	10	6.50%	8	4.00%
5. 女性の方が非常に優遇	4	1.10%	4	2.60%	0	0.00%
6. 分からない	49	13.80%	19	12.30%	30	15.00%
未回答	4		3		1	

問9-3 地域で(自治会、PTAなど)

	全体		男性		女性	
1. 男性の方が非常に優遇	35	9.90%	12	7.80%	23	11.50%
2. どちらかといえば男性の方が優遇	136	38.40%	55	35.70%	81	40.50%
3. 平等	70	19.80%	43	27.90%	27	13.50%
4. どちらかといえば女性の方が優遇	23	6.50%	12	7.80%	11	5.50%
5. 女性の方が非常に優遇	4	1.10%	3	1.90%	1	0.50%
6. 分からない	86	24.30%	29	18.80%	57	28.50%
未回答	5		4		1	

問9-4 教育の場で(義務教育の過程)

	全体		男性		女性	
1. 男性の方が非常に優遇	10	2.80%	2	1.30%	8	4.00%
2. どちらかといえば男性の方が優遇	61	17.30%	18	11.80%	43	21.50%
3. 平等	166	47.00%	90	58.80%	76	38.00%
4. どちらかといえば女性の方が優遇	14	4.00%	8	5.20%	6	3.00%
5. 女性の方が非常に優遇	2	0.60%	2	1.30%	0	0.00%
6. 分からない	100	28.30%	33	21.60%	67	33.50%
未回答	6		5		1	

問9-5 社会全体で

	全体		男性		女性	
1. 男性の方が非常に優遇	33	9.20%	6	3.80%	27	13.40%
2. どちらかといえば男性の方が優遇	211	59.10%	88	56.40%	123	61.20%
3. 平等	38	10.60%	28	17.90%	10	5.00%
4. どちらかといえば女性の方が優遇	25	7.00%	17	10.90%	8	4.00%
5. 女性の方が非常に優遇	3	0.80%	3	1.90%	0	0.00%
6. 分からない	47	13.20%	14	9.00%	33	16.40%
未回答	2		2		0	

問10	これからの子どもは、どのように育てるのがよいと思いますか。	全体		男性		女性	
	1. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい	24	6.80%	18	11.60%	6	3.00%
	2. ある程度は、男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい	64	18.10%	34	21.90%	30	15.10%
	3. 区別せず、本人の個性や能力にあったように育てる方がよい	263	74.30%	102	65.80%	161	80.90%
	4. その他	3	0.80%	1	0.60%	2	1.00%
	未回答	5		3		2	
	その他回答						

- ・プラス、LGBTはLGBTらしく育てる環境を。
- ・2、3に共感できます。1は私自身が言われてとても嫌だったので反対です。
- ・男の子、女の子と区別せず自分で考えさせるようにする。
- ・男女という性別区別自体無くすべき。年齢も性別もなく〇〇という人間である、という事だけあれば良い。

問11	この1年間に健康診断を受けましたか。受けたものをすべて選んでください。	全体		男性		女性	
	1. 健康診断(人間ドックを含む)	270	72.40%	128	96.20%	142	59.20%
	2. 乳がん・子宮がん検診	67	18.00%	0	0.00%	67	27.90%
	3. その他のがん検診	28	7.50%	5	3.80%	23	9.60%
	4. その他	8	2.10%	0	0.00%	8	3.30%
	5. どれも受けなかった	66	18.50%	27	17.30%	39	19.50%
	未回答	3		2		1	

その他回答

- ・血液検査のみ
- ・採血、レントゲン
- ・かかりつけの病院で血液検査など
- ・職場
- ・脳ドック
- ・肺レントゲン

問12 日ごろ精神的ストレスや悩みがありますか。

	全体		男性		女性	
1. 職場の人間関係	69	9.00%	25	9.70%	44	8.70%
2. 仕事上のこと	128	16.80%	63	24.40%	65	12.90%
3. 家計のこと	87	11.40%	24	9.30%	63	12.50%
4. 相続・財産のこと	17	2.20%	8	3.10%	9	1.80%
5. 夫婦関係	37	4.80%	11	4.30%	26	5.10%
6. 育児や子どもの教育のこと	39	5.10%	5	1.90%	34	6.70%
7. 親との同居	38	5.00%	13	5.00%	25	5.00%
8. 高齢者や病人の介護	49	6.40%	17	6.60%	32	6.30%
9. 生き甲斐・自分の生き方	78	10.20%	19	7.40%	59	11.70%
10. 健康のこと	121	15.90%	44	17.10%	77	15.20%
11. 親類や近所づきあい	52	6.80%	16	6.20%	36	7.10%
12. 社会的な出来事や風潮	34	4.50%	10	3.90%	24	4.80%
13. その他	14	1.80%	3	1.20%	11	2.20%
14. 特にストレスや悩みはない	53	15.20%	33	21.90%	20	10.10%
未回答	10		7		3	

その他回答

- ・色々
- ・自分が高齢者になった時の福祉制度がどの程度充実しているかについて。
- ・老後の不安はある。
- ・他市内で、横柄な議員に遭遇し、とても傷つき今後の生活が不安になった。今は、あまり考えないようにしている。
- ・この一年全ての出来事に対しストレスを感じやすくなっています。
- ・将来の不安(お金など)
- ・お金のかせぎ方
- ・友人関係
- ・保育園のこと
- ・2世帯住宅に住んでいるが、元々亡くなった主人の祖父が住んでいたところに結婚して入居した。子供3人が生まれ、居住スペースがあまりにもせまい。
- ・老後の生活への不安(2)
- ・夫が退職して夫婦生活のリズムが良い時もあれば、いやな時もある。
- ・各種団体

問13 これまでにDVについて、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。

	全体	男性	女性
1. 身体的な暴力(殴る、蹴る、性的行為の強要など)を受けたことがある	10	2.20%	5
2. 精神的な暴力(大声でどなる、何を言っても無視されるなど)を受けたことがある	31	6.90%	9
3. 暴力を受けた人から相談されたことがある	16	3.60%	5
4. 身近に暴力を受けた人がいる、またはそのような話を聞いたことがある	63	14.10%	17
5. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	270	60.30%	120
6. 暴力について見聞きしたことはない	41	9.20%	24
7. その他	2	0.40%	0
未回答	15	3.30%	7

その他回答

- ・旦那さんではないですが、過去に経験しました。
- ・そのような専門職に就いていますので。

問14 セクシュアル・ハラスメントについて、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。

	全体		男性		女性	
1. セクハラを受けたことがある	22	5.10%	3	1.70%	19	7.50%
2. セクハラを受けた人から相談されたことがある	19	4.40%	6	3.40%	13	5.20%
3. 身近にセクハラを受けた人がいる、またはそのような話を聞いたことがある	51	11.80%	20	11.20%	31	12.30%
4. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	282	65.40%	116	64.80%	166	65.90%
5. セクハラについて見聞きしたことはない	40	9.30%	29	16.20%	11	4.40%
6. その他	4	0.90%	0	0.00%	4	1.60%
未回答	13	3.00%	5	2.80%	8	3.20%

その他回答

- ・そのような相談業務に就いているので。
- ・どこで線引きするか難しいです。タイミングは大事だと感じます。
- ・職場の同僚から同僚同士での嫌がらせがあったと相談された。
- ・永年勤めている中で最近でセクハラ、パワハラ等が話題になっているの以前はあたり前のことだった。

問13で『1. 2.』 問14で『1』と答えられた方

問13-1 DVやセクハラを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をされましたか。

	全体		男性		女性	
1. 暴力やセクハラを行った相手に抗議した	5	6.80%	1	6.70%	4	6.80%
2. 家族や身近な人、友人に相談した	15	20.30%	2	13.30%	13	22.00%
3. 公的な相談機関に相談した	3	4.10%	0	0.00%	3	5.10%
4. 勤め先の上司や担当者に相談した	8	10.80%	0	0.00%	8	13.60%
5. 警察などに訴えた	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6. 仕方がないと思い何もしなかった	21	28.40%	5	33.30%	16	27.10%
7. こわくて何もできなかった	4	5.40%	1	6.70%	3	5.10%
8. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった	6	8.10%	1	6.70%	5	8.50%
9. その他	5	6.80%	1	6.70%	4	6.80%
未回答	7	9.50%	4	26.70%	3	5.10%
	74		15		59	

その他回答

- ・見下した
- ・母親と自分が父親からDVを受けているがしかたないと思っている。
- ・その場から逃げた
- ・病院などで相談した
- ・引っ越して夫が家にいるため不安(精神的)はないとは言えない。老後生活をがんばっています。

問15 現在、あなたは地域や社会の活動に参加していますか。

	全体		男性		女性	
1. 参加している	198	55.60%	93	59.60%	105	52.50%
2. 参加していない	158	44.40%	63	40.40%	95	47.50%
未回答	3		2		1	

問15で『1』と答えた方

問15-1 どのような活動に参加していますか。

	全体		男性		女性	
1. 自治会・老人クラブなどの地域での総合活動	135	41.50%	66	41.80%	69	41.30%
2. PTA・子ども会・ファミリーサポートなどの地域での教育に関わる活動	42	12.90%	14	8.90%	28	16.80%
3. スポーツ・レクリエーションなどのグループ活動	54	16.60%	34	21.50%	20	12.00%
4. 趣味や文化などのグループ活動	36	11.10%	10	6.30%	26	15.60%
5. 自然保護・環境保護などの活動	4	1.20%	2	1.30%	2	1.20%
6. 国際交流活動	2	0.60%	0	0.00%	2	1.20%
7. 福祉やボランティアに関する活動	25	7.70%	10	6.30%	15	9.00%
8. 消防団などの自主防災活動	22	6.80%	22	13.90%	0	0.00%
9. その他	5	1.50%	0	0.00%	5	3.00%
未回答	0		0		0	

その他回答

- ・いきいきサロンに参加。
- ・参加の仕方がわからない。
- ・社協のいきいきサロン
- ・育成会
- ・組の清掃、組の行事

問15で『2』と答えた方

問15-2 活動に参加しない理由は何ですか。

	全体		男性		女性	
1. 仕事が多忙なため	60	23.40%	25	28.70%	35	20.70%
2. 家事、育児、介護で忙しいため	26	10.20%	4	4.60%	22	13.00%
3. 健康や体力に自信がないため	21	8.20%	7	8.00%	14	8.30%
4. どんな活動があるのか知らないため	51	19.90%	14	16.10%	37	21.90%
5. 車の運転ができないため	9	3.50%	3	3.40%	6	3.60%
6. グループなどへの加入方法がわからないため	14	5.50%	2	2.30%	12	7.10%
7. 高齢なため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
8. 家族の理解が得られないため	1	0.40%	0	0.00%	1	0.60%
9. 経済的余裕がないため	17	6.60%	4	4.60%	13	7.70%
10. 興味が無い、参加したくない	49	19.10%	21	24.10%	28	16.60%
11. その他	8	3.10%	7	8.00%	1	0.60%
未回答	4		1		3	

その他回答

- ・学生なので(2)
- ・まだそういう年齢になっていない。
- ・現在は参加、協力の依頼がない。
- ・地域活動に関しては、主に親が参加・活動しているため。
- ・父親が参加。
- ・知識や経験があまりないため。
- ・本当に意味のある活動なのか懸念がある。勉強が忙しい。

問16 仕事との関係において、家庭生活または町内会やボランティアなどの地域活動をどのように位置づけているか。

	全体		男性		女性	
1. 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念している	54	17.10%	22	15.90%	32	18.00%
2. 家庭生活または地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させている	130	41.10%	71	51.40%	59	33.10%
3. 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させている	82	25.90%	34	24.60%	48	27.00%
4. 仕事にも携わるが、家族生活または地域活動を優先させている	29	9.20%	5	3.60%	24	13.50%
5. 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念している	21	6.60%	6	4.30%	15	8.40%
未回答	43		20		23	

問17 自治会長や公民館長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか

	全体		男性		女性	
1. 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	138	23.50%	61	24.00%	77	23.10%
2. 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと	146	24.80%	62	24.40%	84	25.10%
3. 社会の中で女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること	116	19.70%	55	21.70%	61	18.30%
4. 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと	74	12.60%	32	12.60%	42	12.60%
5. 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取り組みを進めること	91	15.50%	37	14.60%	54	16.20%
6. その他	23	3.90%	7	2.80%	16	4.80%
未回答	22		8		14	

その他回答

- ・女性がリーダーになることに抵抗感がないので分からない。
- ・性別を第一に考えずその人の能力を見れるようになること。
- ・わからない(3)
- ・社会において、男性でも女性でも、できる人がやれば良いのであって、“女性リーダー”を作ろう、という考えは好きではない。
- ・社会のしくみや考え方が変化しないと無理かな。
- ・女性は子育て、家庭の事、介護仕事など男性より忙しく働いているため、男性(夫や兄弟等)の理解が必要。まずはそこからだと思う。研修などを女性にしても、理解がなければできない。市議も1人も女性がいないのは、大月市はまだまだ遅れていると思う。
- ・女性がリーダーになれない現実が分からない。
- ・興味がない。
- ・女性も手助けしてる。
- ・何をもって評価を高くする？「女性ならではの～」はむしろ性差別かと。「一定の割合でなる」は無理強いすることにはなりませんか？女性の負担増加になるかと。実際に他の仕事と共立できることが大切かと思いますが、そのような環境をまず整えることが大切かと。(家事等)
- ・男女の区別はなく、人格等で活動する。
- ・家庭の理解、家の仕事、家事が忙しいので。
- ・市内に若者がいないので、どうしても70才以上の特に男性が動かなければならざるをえない状態なので…。
- ・これ以上女性の仕事を増やす必要はない。
- ・女性がリーダーになる意識を強く持っていただけが良いと思います。
- ・自分自身がリーダーになりたくないのも興味はない。
- ・合わせて女性側も男性側に攻撃的にならないようにすること。
- ・女性がリーダーになることと男性がリーダーになることになんかの差があるのか、この質問が不可解。
- ・引越してきたばかりなので、まだ地域になじめずらしている。

問18 「男女共同参画社会」という言葉と意味をご存知ですか。	全体		男性		女性	
1. 知っているし、意味もわかっている	124	35.40%	65	42.20%	59	30.10%
2. 言葉だけは知っている	139	39.70%	56	36.40%	83	42.30%
3. 知らない	87	24.90%	33	21.40%	54	27.60%
未回答	9		4		5	

問19 「第2次大月市男女共同参画プラン」をご存知でしたか。	全体		男性		女性	
1. 名前も内容も知っていた	21	6.00%	11	7.20%	10	5.10%
2. 名前だけは聞いたことがあった	75	21.50%	34	22.20%	41	20.90%
3. 知らなかった	253	72.50%	108	70.60%	145	74.00%
未回答	10		5		5	

問20 市政に女性の意見が反映されていると思いますか。	全体		男性		女性	
1. 十分に反映されている	5	1.40%	3	2.00%	2	1.00%
2. まあまあ反映されている	55	15.70%	32	20.90%	23	11.70%
3. あまり反映されていない	100	28.60%	35	22.90%	65	33.00%
4. 全く反映されていない	28	8.00%	8	5.20%	20	10.20%
5. その他	5	1.40%	3	2.00%	2	1.00%
6. わからない	157	44.90%	72	47.10%	85	43.10%
未回答	9		5		4	

その他回答

- ・そもそも市政に市民の意見が反映されていると思っていない。
- ・男女とわず反映されていない。
- ・性別は関係ない。
- ・〇〇は女性の意見を反映していると思っているのか逆に聞きたい。
- ・あまり女性が公の場で自分の意見を言わない。

問21 一般的に女性が職業をもつことについて、どうお考えですか。

	全体		男性		女性	
1. 結婚するまでは、職業をもつ方がよい	12	3.40%	6	3.90%	6	3.00%
2. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	12	3.40%	5	3.30%	7	3.60%
3. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	107	30.60%	48	31.40%	59	29.90%
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	150	42.90%	68	44.40%	82	41.60%
5. 女性は職業をもたない方がよい	3	0.90%	1	0.70%	2	1.00%
6. その他	36	10.30%	12	7.80%	24	12.20%
7. わからない	30	8.60%	13	8.50%	17	8.60%
未回答	9		5		4	

その他回答

- ・必要であれば職業をもてばよい。
- ・人それぞれ(2)
- ・ずっと職業を続ける方がよい。
- ・各家庭のライフスタイルに合わせれば良いと思うが、環境は整っている方がベスト。
- ・どちらでもよい。
- ・それぞれの考えでよい。
- ・働きたければ働けばいいし、働きたくなければ働けばいいと思う。職業を持つことは個人の自由であり、社会がとやかく言うことではない。
- ・本人に合わせて判断すべき。
- ・それぞれの考え方や生き方があっていいと思う。
- ・本人の意思で良いと思う。働かなくても生活できるのなら自分は働きたくない。
- ・それぞれの事情で良い。
- ・適材適所
- ・子どもがいても働きやすい職場環境が大事だと思います。本人の意思はそのような環境がなければ実現しないのではないのでしょうか。
- ・子どもがいる(できた)場合食病を続ける、続けないなどは個人が自由にきめられる方がよい。
- ・個人の都合により決めるのが良い。
- ・ケースバイケース。悪いことではない。
- ・個人の好きな生き方をすべき。
- ・個々の女性の考え次第。
- ・女性というくくりではなく個人として考えた方が良いでしょう。個人の自由だと思う。自分の人生なので。働きたい人もいれば働きたくない人もいます。どれも受け入れられる環境が一番良いでしょう。
- ・子どもができたら産休を取って職業を続ける。
- ・特に問題はない。
- ・生き方によるのではないかと。
- ・女性が職業をもつというよりも、働かなければ家計が回らない社会になっている。子育てが終わるまでは。
- ・どちらでもよいと思う。
- ・一度は職業をもつ方が良いが、それをいつまでと区切るのは個人の都合や考え方なのでわかりません。
- ・本人がしたい様にすればいい。
- ・それぞれの環境にそって判断する。
- ・男性でも女性でも働くかどうかは本人が決める事。「女性が」という質問自体、女性に対する差別のあらわれ。
- ・女性が職業をもつことに結婚も子どもも関係ない、本人の自由だと思う。
- ・女性という枠ぐみにとらわれず自由に選択すればよい。
- ・子供ができ職業を続ける環境がととのっていることが大事。
- ・本人の考え。
- ・その人その人の考えでよいと思う。
- ・3歳までは家庭でしっかり子育てができるような保障があれば。

問22 男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動などへの参加をするために必要なことは何だと思えますか。

	全体		男性		女性	
1. 男性の家事参加などに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	186	15.50%	71	15.30%	115	15.60%
2. 男性の家事参加などに対する女性の抵抗感をなくすこと	58	4.80%	23	5.00%	35	4.80%
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	213	17.80%	85	18.30%	128	17.40%
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考えを尊重すること	105	8.80%	38	8.20%	67	9.10%
5. 職場の中で男性による家事、育児、介護、地域活動について理解し、支援すること	163	13.60%	68	14.70%	95	12.90%
6. 労働時間の短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多くもてるようにすること	145	12.10%	65	14.00%	80	10.90%
7. 社会の中で男性の家事、子育て、介護、地域活動についても、評価を高めること	152	12.70%	49	10.60%	103	14.00%
8. 研修などにより、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	49	4.10%	21	4.50%	28	3.80%
9. 男性が育児や介護、地域活動を行うための、仲間づくりを進めること	61	5.10%	18	3.90%	43	5.80%
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	53	4.40%	20	4.30%	33	4.50%
11. その他	15	1.30%	6	1.30%	9	1.20%
未回答	13		9		4	

その他回答

- ・わからない(2)
- ・男性その人がやる気があればできることなので、個人(男)差があると思う。
- ・幼少期からの教育が大切だと思います。
- ・家庭の事情により個々で判断するべき。
- ・男性の家事などの研修が必要。
- ・個々の男性の考え方によると思うが、誰かから強制されるべき問題ではないと思う。基本的には選択肢3が重要であると思う。
- ・有給をなかなか取らせてくれません。パートなのに…という理由で一度も使えていません。最近では男性が家事・育児をしている姿を良くみます。女性も仕事をするので、各家庭に合ったやり方でよいと思う。いろいろな人に対応したサポートは用意しておくと思いいます。
- ・本人のやる気
- ・近所に独り者の女性が男はこうあるべきetc女はこうあるべきとかゆう女性がしゃしゃりできてあーだこーだゆってきて迷惑ですね。
- ・家事・育児は誰がやってもかまわないと思う。介護は家庭がになうものではなく、社会がひきうけるもの。
- ・男性がではなく、男性もである。
- ・子供が小さい時から男の子の子と役割を決めず、なんでもやらせること。親の認識が大切、家庭での教育。

問23 男女が個性と能力を発揮して、いきいきと暮らしていく社会の実現のために、日ごろ考えていることがあれば、自由にお書きください。

・学生の頃、授業で取り扱うテーマだが、その頃は、「女性の問題」というイメージが強かったが、男性の性別分業の発想が残っていると社会にでてから感じるようになった。

・実現できるための発表の場をつくり一年に1つでもの実現をしそのけいか等を若い人達に伝えていきたい。市政もいろいろな人と対話し住みやすい活気ある街づくりをし、女性が働ける場をもっとつくってほしい。

・(問18)言葉だけが一人歩きしている。

・市長を男女交互に行うようにしたいかがですか？それくらい気持ちがあれば、男女平等社会なんて実現出来ませんよ。

・過疎化の進んだ地域なので、男女関係なく、年齢関係なく地域活動と仕事で力が発揮できればと思いますが、ひとりではなかなか、っやはりグループでの活動、何かのグループに属して活動の中で発言したり、他の意見をきいたり、大事なことだと思います。

・男性、女性の生まれ持った特性があるので、やはり全てが平等に！！というやりすぎた考えは疑問がある。1人ひとりその人その人の個性とやる気で尊重して行くべき。只、男だから、女だからという偏見で差別したり、認めない現場は良くないが、“力の強さ”や“繊細な作業や考え”など、男女頼るべき点は大いに頼るべき長所として尊重していくべきだと思う。

・男女というより(LGBTの問題もある中で)人間として一人一人を考え、生き生きと暮らしていける社会の実現を考えていけないと思う。あと、この質問の中に「子どもができて」というくだりがあったが、子どもは女性しか産めないのは確かであるが、色々な人たちが社会では暮らしていることを考えてほしい。このように、自分が考えていることの他に色々な考えを持っている人がいることを考え、それを認めていくことが、人として個性と能力を発揮し、みんなが生き生きと暮らせる社会になるのではないと思う。

・男性のためのクッキング教室や、FacebookやLINEなどでのパパ友づくりなど、男性を家庭の中に入れていくような。(女性の子育てや家事の現状を知ってもらう)市長や市議たちが、たのしくクッキング教室やパパ友たちとの交流を広報などで「やっていますよー！」(もちろん、プライベートで)紹介したり。(ちょっとはめをはずしてもいいんじゃないかと。)大月市は若い人、外から来た人たちから見たら、古臭くて、めんどくさい感じがする。たのしくない。仕事もない。ご近所さんたちは(大月市の人たち)やさしくていい人たちののに。家庭を持っている人たち(男性)は、長男で、“〇〇家の”みたいな人たちが多く、考えが古い。もっと外(他地域)を見るべき。たくさんいい所あるのに、もったいない。たくさん女性の意見をきくべき。

・「男女共同参画」が取り沙汰されること自体が意識が低いことのアカシのように思う。過剰になりすぎるのも問題。

・第2次大月市男女共同参加プランを知らなかったにマルしましたが、第1次すら知りませんでした。もう少し身近な取り組みからお願いしたいです。

・「男性が外、女性が内」、「女性が外、男性が内」「男女が同等に分担」どれがよいということではなく、それぞれにあった形を選択できることが大切だと思います。

・いきいきと暮らしていく社会とは、具体的にどの様な生活のことかわかりません。私は梁川に生まれてから現在まで暮らしています。いきいき暮らして行く事を市に相談しても返答が(私から連絡しないと)ありません。今年は約束した事を守れない市に相談に行く予定です。どうぞ市民一人の約束を守ってから、人権尊重、共同参画を目指して下さい。私も来年退職し、地域にすこしでも貢献して行きたいと考えています。

・男女が個性と能力を発揮して、いきいきと暮らしていく社会の実現のためには、わざわざ共同を推し進めていく必要はないと私は考えています。まず始めに男女には生物学的な違いがあります。細かな違いは多々ありますが、最大の違いは子どもを産むことができるのが女性しかないということです。昨今、LGBTという言葉をよく耳にします。私は、こうした人々には寛容であるべきだと考えています。性同一性障害という病がある以上、社会はこうした人々を認めるべきなのです。しかし、いくら精神的にLGBTを受け入れようとも、生物の壁は越えられません。本人も社会もその人を女性と認めようとも、体が男性である以上、子どもを産むことはできないのです。「何を当たり前のことを…」と思われるかもしれませんが、男女共同参画社会の推し進めは、その壁を無視しているように感じます。これを踏まえた上で、女性は子どもを産むことができ、男性は力が強く長く働くことができるという特性を活かしてきたのが今の社会ではないでしょうか。良くも悪くも便利になった現在の社会では、女性が男性の、男性が女性のやってきたことをできるようにになりました。しかし、いくら生活が便利になろうとこの性的な差は埋めることはできないでしょう。女性の社会進出はとても立派なことです。しかし、無理な男女共同参画は、社会の崩壊を招くでしょう。もう一度、生物としての原点に帰って考える必要があると思います。※大月市の「第2次大月市男女共同参画プラン」を否定しているわけではないです。社会全体としての男女共同への思想についての感想です。

・税金のむだ使いをやめ、すみやすい市政を行い、市民を増やす努力をしてほしい。

・配偶者特別控除の壁が、逆に女性の社内進出を拒んでいて、弊害である。収入制限の額をせめて、平均年収ぐらまで上げるべきである。あえて働けるのに越えない様にしか働かないとしている女性がどれだけ多いか知っていますか？

・小さな子供がいる家庭では、親が遅い時間まで仕事していても預けられる施設があると良いと思う(共働きの場合)定年が過ぎていても選ばなくても仕事があると有りがたいですね。

・男女の個性をそれぞれ尊重して共存していく。

・特に日頃、男だから、女だからと考えて生活していない。でも、子供の育児に関する事はほとんど女の人が行っていると思う。今すぐは無理でも、自分達の子供、今小学生や中学生は生従会長、児童会長が女の子という学校も多いので、子供達が成長した時に男女の差みたいなものがどうなっていくのか？見守ってみるのも良いのかも。女の人が必要な事を行っているのは男の人より出来てしまうようになっているのかも。でも実際、たまには炊事全般を夫がやってくれたら助かるのになと思う。

・女性が安心して働き続けられる環境作りが必要である。出産しても安心して働き続けられる環境作りが少子化のは止めになる。若者が集まりやすい魅力ある市政を望みます。

-
- ・男だからとか女だからとかではなく個人としてフォーカスを当てていくことを意識することが広がればより個性と能力が発揮すると思う。
 - ・男子、女子平等！！自分に自信を持って生きること！自分のやりたいことをやる！実現って難しいけど頑張ること！
 - ・男性でも女性でも「意識」として、リーダー、社会に対応したいという事を考えてほしい。
 - ・そんな事よりも税金の使い方を適切にして下さい。無駄な物を造らないで下さい。議員の数や筐子にある何かの設備・・・必要ですか？本当に必要と思える事を真剣に考えて下さい。
 - ・大月市内に働く場所を増すこと。
 - ・男女をとわずできる事を無理せず行い、行政も窓口を広げもっとアピールしてほしいと思います。
 - ・大月市は男女共に働く場所が少なすぎる。女性が自立する場が少ない。
 - ・夫婦共70才代で仕事や地域活動も余り活発にしているとは言えません。年金でお互いの体を気遣いながら共に元気で日々をすごせたらと思うだけです。明解なアンケートの答えが書けず申し訳ありません。
 - ・大月市に働く場所が少ない。
 - ・男女平等については、幼少期からの教育が大切だと思います。高齢者はなかなかその価値観を変えることは難しいと思いますが、新聞や公報などでそのような内容を載せ発信することが役立つのかも知れません。また、女性がポストに就くなどの前例がどんどん出てくると良いかと思います。男女平等については、多様性を受け入れることにつながるテーマになるかと思います。障害者や外国人の受け入れとも共通することだと思います。また、男女平等も大切ですが、高齢者支援が大月市は手薄ではないかと存じます。免許を返納した人を含め高齢者はバス使用ゼロ円にすべきでは。他のところはもっと得になるシステムがあります。大月市に住み続けるメリットが少ないと思います。(例、買いものが割引になる、巡回バスゼロ円等)
 - ・私は大月市で「第2次大月市男女共同参画プラン」という策があった事自体も知らなかったです。ただ、大月市が男女共同参画社会に向けて行動してくださるのはありがたいと思います。まず大月市はどのようなことを行おうとしているのか、住民の周知は大事だと思います。人間全員が納得するような案は難しいですが、小さなことからでもこの大月市をかえていってくだされば良いと思います。女性らしさ、男性らしさではなく、人間個人の自分らしさを表現できる社会を期待しております。
 - ・恥ずかしながら、私はこのアンケートによって初めて、大月市男女共同参画プランという取組みが行われていることを知りました。ですが、私のように未だ知らない方は少なくないのではないかと思います。この様な取組みに対しての、興味の有無に関わらず、より多くの方の認知度、理解度を上げることが、男女の個性や能力を無駄なく存分に発揮できる社会の早期実現へと繋がるのではないかと思います。
 - ・地域の清掃の回数が多すぎるのでそんなに必要ないと思う。家の前の道路(市道)をスピード超過の車が多く通り、危険だと常々思う。市の放送が何を言っているのか聞きとり辛い。
 - ・おもしろいをもち、助け合うこと。
 - ・質問に答えるのが難しかった。
 - ・男女共に孤立しないで生きていけるように、地域や行政がサポートしていけるシステムを構築してもらいたいと思います。
 - ・子育てにお金がかかるので、今の世の中は女性も仕事をする家庭が多いと思います。夫婦で働く中々家のことが出来なくなりますが、夫婦で協力して家のことをやらなければと思います。お互いにねぎらいの言葉と気持ちを忘れずにやらなければと思います。また、大月の子供が激減しているように思います。子供を安心して育てられる大月市にしたいです。
 - ・そもそも何をもって「平等」と云うのでしょうか？男性の女性のそれぞれの特性というものがあります。個々の生き方が有ります。そして各々のその時々働き方・地域へのかかわり方等も違います。その為の職場作り、社会の有りがきちんと整っていれば、個々が各々の生き方をスムーズに選択出来る、それが「平等」でしょうか？私の勝手な理想は、女性には出産後、子供をある程度(小学低学年位)迄、保育園等に預けず家庭に於いて自らの手で育てることに専念してほしい。勿論男性もこの時期大いに参加・協力をする。子育て＝人間形成(親も)＝健全な国の未来。愛情を最大限に注ぐ子育てはとても大切な仕事だと思います。多少の仕事(パート等)・地域への参加は積極的に。その後の職場復帰・社会参加は当然スムーズに行く事を願います。
 - ・私の周辺では、大月市は第2の夕張市になると言われています。男女協同参画も結構ですが、それよりも大切なことがあると思います。政治家と公務員数の削減を望みます。
 - ・能力の有る女性は高い地位に有るべきだと思う。
 - ・現在の世の中、そんなに男女にこだわりがあるような感じはありません。日本人は日本人なりの男女の生き方があるので、問題視する必要はないと思います。
 - ・何を言っても大月市は伸びないと思っているので特に期待はしていない。
 - ・大月市の中に、働ける会社、施設、お店が増えてくれるとうれしいです。
 - ・問9③について、人口が少なく、その為普通に運営できていない。男がどう、女がどうかの話まで進めてない。どうにもならない事だけれど・・・、横柄な態度をとる人(特に男性)は、ほんとに怖い。地域のトップクラスを務めるには必要？なのかもしれませんが・・・。
 - ・高齢社会で、市民ひとりひとりが生き生きとくらしにいけるように男女をとわず地域活動に活発に参加できるように市として地域活動にもっと目を向けて下さい。
-
- ・平等とは男女に同じものを与えるということではない。例えば、ほとんどの女性には男性と同じ量の肉体労働をこなすのは難しいだろう。(重いものを持ち運ぶなど)それよりも、いきいきと暮らしていけない社会というのは評価されない社会のことではないだろうか。会社での仕事は給料という形で評価されるが、家事や社会活動に尽力しても評価されることは少ない。例えばアメリカやイタリアでは3月8日の国際女性デーに身近な女性に花を贈り感謝する習慣がある。日本においてもこういった機会を設けなければ、家事などの比較的女性が担う確率が高い労働が評価されることはないだろう。組長や自治会長も任期を終える際には感謝され、評価される必要がある。市には以上のような評価活動を促進して欲しいと思う。(感謝の種をまくということです。)大月市の財政がひっ迫した状況にあるのは承知しているので、お金のかからない範囲で意見を述べた。
-

・地域愛が、大月大すきと言える町創りを期待しています。

・男女平等。人権として皆が平等であることは大切だと思うが、人にはそれぞれ得意不得意な分野があり、男女間でも埋められない差はあるのが事実(筋力、体力等)。男女が互いの違いや差を、きちんと認識し思いやり合い助け合い、尊重出来なければ本当の意味で「男女共同参画」は成されないと思う。性別で言う男女差を無くすことも大切だが、その他の差別意識が抜けなければ何も始まらないと思う。私は大月の地域差のことは良く知りませんが、知人の発言に驚いたことがあります。その人は自分のご先祖様や親族がいかにも偉大で優秀であるかを力説し、さらにその子孫である自分が住む地域は文化的にもとても優れた人々が暮らす土地であると言い、他の地域のことは「あそこはただの農民上りの地域」など完全に格下扱い。21世紀にもなってこんな風に部落差別的意識を持って生活している人がいることにビックリし、ガッカリしました。表面上いくら良いことを言ったりやったりしていても人としてのコアな部分がそれでは何もならないと思うのは私だけでしょうか？

・近所に独しん(ひとりもの男・女)がいるが、こういう人達からまず何とかしてからが「参画プラン」とかやった方がいいと思う。まったく独身者がとにかく多すぎでこまる。市長なんとかして欲しい。市民会館ももっとコンサート他、演劇とかみたいです。次の「ゆうばり」になるって言うてる人達もいる。商店街もつまらないなんとかして下さーい。みりよくのある大月市にして下さいね。

・調査をとるだけでなく、実際に行動してもらいたい。

・社会のしくみは多様であり変化していくものです。超高齢化、超少子化する現在、人手不足のため外国人が日本社会でくらししていくことも増えていくと思います。色々な人がいていく社会で男女といったくりだけで考えるべきではなく、年代、人種などを超えて大きなスケールでいきいきと暮らしていける社会をめざすことが理想です。市の男女共同参画プランがその基本にあるとするならば大変素晴らしいことではないでしょうか。

・子供を育てながら働いている女性を職場や社会全体でサポートしていけるような世の中を作るべきだと思います。例えば、職場の中に託児所のような場所を作ったり、女性の育児ストレスへのケアなど…。

・お互いを理解し合う事。子供の育て方も自分だけでなく地域や親などに協力してもらおう。

・男性、女性共経済的に自立し共存していく事が大切だと思います。女性が男性に経済的に依存する限り共存は無理だと思います。そのためにも市内に職場が必要ですね。

・女性が社会に出て働くことに対する見方は受け入れられる傾向になってきていると感じるが、女性がリーダー的な立場につくことについては偏見がまだあるのかなと感じ、男女平等だとはあまり思えないので、女性がトップに立つことに対する抵抗感がもう少しなくなれば、もっと女性が活躍しやすい環境が整うのではないかなと思う。

・賃金増加

・自分と違うものやこれまでの「当たり前」と違うものを頭ごなしに否定しないことが大切ではないかと考えています。

・私は元々女性の皆様が地域のリーダーになる事を応援する気持ちは持っていて、区長、区会議員、公民館長、市所長など女性が活躍する場所ができて誕生する事を願っています。その事に対して男性の理解も必要ではないかと思っています。

・性別や人種など関係なく、一人一人の考え方や生き方を尊重する為には、学校での教育活動が大切になると考えている。そのためには、行政が積極的に教育活動に携わることが必要だと思う。

・地域のコミュニティーをもっと活性化し、(例)公民館の活用、情報の提供、意見交換等)専門的立場の人との会話を通じ広く知識を広める事が市政を進める(スピードアップ)事が大切であると思う。公的な所をもっと使って、市民に情報を知らせる。意見を聞く、より良い方向性を見だし、多くの人の参画を得る。もっと具体的に事例など、参考に提示する。結果、進行状況を開示し、経過が分かる様にする。(地域の組織の活性化と活用)現状を変化させ、チャレンジする。

・女性が働く環境が悪い、社内規定で育児休暇や育児の為の時短等をうたってあっても、実際は与えてはくれず、解雇されました。これが現状です。子供がいれば休みが増えるからなどの理由で、社員からパートへ、そして解雇。有給休暇内におさえてあっても、子供が具合が悪い時に使えるはずの介護休暇も取得できず…。そんな会社が多すぎる。文句を言えば「辞めれば!!」と切り捨てられます。男性上司だけではなく、同じ道を歩んだはずの女性すらそうなんですから…。

・男女と区別するのではなく、性別を越えて個人を見る事が大切。もちろん男性の得意分野、女性にしかできない仕事もありますが、全体で見れば男女が平等にできるものが多々あると思います。そういう仕事にたいしては、男女関係無く個人の特性や能力、向き不向きで判断していくことが必要だと思います。後は男性、女性ともに男だから、女だからと自分で枠組みを決めずに考えていくこともこれから増えていくと良いと思います。

・高齢者の居る家庭は、介護の為に働く事ができない人がたくさんいると思います。高齢者で介護を必要とする人を全て国が見てくれる事を望みます。小さい子供達を育てている親も同じように、保育してくれる事を望みます。

・男女同権の時代であってもその意味をはき違えてはいけません。男にしかできない事、女にしかできない事もあります。ですから人間として男は男らしく女はより女らしく生きる事です。そうでなければ良い子供が育てられません。年をとっても元気があれば働いて生きている事を実感したり、ずっと働けませんが毎日遊ぶ事も大変です。働いたり遊んだりバランスの良い人生を送りたいです。

・個性と能力を発揮する場、機会がない。もっと地域住民の能力を発掘できる場を作ってほしい(例、公募するとか、人材バンク制度とか)。今は横つながりの知っている人が同じ役割をしていることが多いように感じます。特に定年退職したあとにもそれまでに生かせる培ってきたキャリアを生かせる場があってもいいと思います。余談ですが…、市政を生々とするための住民参加型として(猿橋)沢山の人が訪れるさるはしを考えた時(さるはし)をもっとよくするためにどうしたらいいかを公募で募集し、集計も住民がするとしたら参加型して活性化がはかられますが、ちいさなことで市の職員だけが何かをするのではなく、住民に返していくということも大切だと思います。

・母子家庭や父子家庭で困っている事に力を貸してほしいと思います。

・「男女」ではなく、一人ひとりが自分の人生を意味のあるものにするべきだと思う。男女を区別するのも時代にそぐわない。「男女共同」というスローガンをかかげただけで市としての仕事やってまず感を出すのは大まちがい。大月市でもLGBTQの婚姻関係を法的に認めて住んでもらうという政策を全国に発信すればいいと思う。ホットなトピックなので絶対バズります！知名度アップにやって損はなし！！東京へ通勤可能なので安い住宅を供給できれば反応は出ると思う。LGBTQに限らず誰でもウェルカムの居住環境を作れば、少しはマシな大月になるのでは？

・①女性が(結婚、妊娠、出産、育児、介護)で仕事を辞めずに安心してずっと続けられる体制・サポートを企業や行政に期待したいです。病児保育室の増員、拡充。21時まで開いている病院があったらうれしい(大月市内に)②若い世帯が住みやすい市づくり。安い住宅物件、市営住宅の新築、改築③働ける人は男女年齢関係なく社会で活躍できる社会になってほしい。

・男性も子育てに参加できるように子供の学校行事の時や病気の時は仕事を休みやすい環境作りを会社、社会全体で取り組んで欲しいです。

・社会の中で子育て中の夫婦への理解又、介護の手が必要な中高年への理解、安心して生活できる環境(何か突発的に病院にかかる時等)医者のない現実、働ける場所(これからの若者達等)基本的な生活が送れるようにお願いしたいです。

・女性がリーダーになることへの拒否感「女のくせに」を社会から一掃することが大事。まずは政治への参加(女性議員の増加など)が必要。

・住環境(地域を含めて)、教育、就業、道路環境等々整備をお願いした。

・男が女がと言う部分をなくし男は男でなければ出来ない事もあるし、女の人ではなければ出来ない事もあると言う事を理解して、相手を思いやる気持ちを持つ社会を作る事が必要であると考えます。

・最初に大月市民が一人ひとりが男女格差をなくし社会を作り上げる事の意識をまず考え直すことから始めていく為に、幼児の頃から何事にも男女が平等に教育される中で心を育てていく事をして、そして社会人となる時は男も女も「人」として見られるようになればと考えます。昔の教育を受けた年齢層の人は“男らしく女らしく”はむずかしいです。しっかりとこのアンケートが活かされますように願います。

・男には男に、女には女にしかできない事があると思います。それを踏まえた上でお互いを認めあう事でより良い社会が築かれるのではないかと思います。

・高齢の方も気楽に出歩けるように、交通手段等充実させて、家に閉じ込まらないように対策して欲しい。

・市が積極的に参加していく事が大事だと思います。

・若い人が暮らしやすい町にしていきたい。いきいきと暮らせる時代が来てくれたら良いと思う。

・子供が小さい頃は、母親が中心となって子育てをした方がよいと感じています。そのため地域社会の理解が必要です。例えば時短勤務や地域活動の活動時間などです。

・その人の生き方、あり方、個性を尊重することができ、理解してもらえる社会になってほしい。男女や年齢に関係なくその人らしい生き方ができるようになってほしいと考えています。

・大月の町の中のシャッター店をどうにかしてほしい。人が寄るような町づくりにしてほしい。もっと若者が働けるような町にしてみたい。良いところばかり広報にのせず、悪いことや事実もしっかりのせて欲しい。

・男女関係なく、お互いの個性を尊重しながら暮らしていきたい。狭い地域だと年長者、男性が上位という考えが根強く残っている。そういう地域の社会活動には参加したくないし、若者も入りこめないと思う。「第2次大月市男女共同参画プラン」は初めて聞いたので市で行っていることをSNSを通して写真付きで分かりやすく説明して欲しい。

・市内に若者が働く場を多く作る事で、市内定住者が増え、いきいきと若者、高齢者も暮らせる。大月市内には働く場が少なすぎる。まず人口を増やす事を考えるべきだと思います。